

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	16212
事務事業名	農地一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 2 目 1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画登載頁	59	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 土地改良法				

事業の概要	県営による土地改良事業を推進するための、測量設計及び申請書作成に係る事業 適正な水利を管理するため、関係水利団体と実施する事業
-------	--

事業の目的	農業用水の安定確保、治水の安定化、災害による農地への土砂の流入防止等の事業を早急かつ円滑に実施
-------	---

事業内容	県営事業に係る委託費及び負担金 関係水利及び農業団体の負担金
------	-----------------------------------

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事業費 財源内訳	総事業費（決算額）		37,843 千円
国庫支出金			千円	千円	千円
県支出金	208 千円			160 千円	135 千円
起債			千円	千円	千円
その他財源			千円	千円	千円
一般財源			37,635 千円	32,118 千円	32,461 千円

活動指標		平成23年度		平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)
①	寄沢負担金(8%)	千円	2,400	800	0	0		
②	社新堰負担金(30%)	千円		55,500	7,500	7,500	100.0%	5,000
③								

成果指標		平成23年度		平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)
①							-	
②	社新堰		採択申請	測量・設計	工事	工事	-	工事
③	大蔵宮堰						-	H27採択申請
2. 数値で表せない効果		（指標 ）ストックマネジメント事業による用排水路等農業用施設の長寿命化計画により、県事業により改良工事を実施し、施設の延命化に効果						

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 当市の農業水利施設は、昭和37年からの県営かんがい排水事業などにより急速に整備され、市の農業生産を支える上で欠かすことのできない社会資本ストックとなっている。 また、これらの基幹的な農業水利施設の多くは、建設から30年から50年近く経過しており、順次に更新時期を迎えるため、施設の現況調査を計画的に行い、施設の長寿命化対策を計画し、既存ストックの有効活用を図ることが求められている。				
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	16213
事務事業名	農業用施設管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 2 目 1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 河川法、農地法				

事業の概要
地域からの要望を受けながら、老朽化等により改修が必要な農業用水路等の施設の更新を実施。

事業の目的
良好な生産基盤の確保と安定した農業経営を維持していくため、農業用水路の機能維持・保全管理が重要である。

事業内容
農業用施設の修繕及び改良工事

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	7,868 千円	8,490 千円	10,337 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	2,500 千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	172 千円	130 千円	154 千円	
	一般財源	7,696 千円	8,360 千円	7,683 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	修繕工事	箇所	25	28	14	30	46.7%	30
②	改良工事	箇所	1	3	1	3	33.3%	3
③	ため池耐震点検	箇所			16	0		0

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果
(指標) 漏水箇所等を補修修繕、必要箇所については、改良工事により、地域からの要望に対応している。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	改善の余地あり	
点数	3	3	2	2	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	やり方改善	基幹水路やため池は、ストックマネジメント事業の調査結果等を基に、県営及び県単事業での採択を要望する。その他用水路は、創設された多面的機能保全交付金事業により、地域の実情を把握している地域組織が主体となり施工・維持管理を行い、行政は、改良や補修のための技術的なアドバイスや検査を行う。従来の陳情箇所については、地域格差があることから、簡易な方法での緊急度のランク付けが、自治会や農家組合でもできるように検討する。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道 部	建設 課	農地整備 係	事務事業No.	162112
事務事業名	野平ため池整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 2 目 1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画	野平地区活性化計画	頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等 土地改良法・農業経営基盤強化促進法	

事業の概要
 野平地区の水田は、約11haあり用水は、布宮沢砂防ダムの貯水と犀川からのポンプアップで賄っているが、布宮沢は集水面積が少なく用水が不足しており、犀川からのポンプアップの稼働時間が多く、運転管理に多大な労力を費やすと共に、電気代の支出も多く、営農に苦勞している。このため、本地区上流にため池を新設して貯水能力を高め安定的な用水確保を図り、営農の収益性を高める。

事業の目的
 布宮沢は、急峻であるが集水面積が少なく、渇水期には水稻栽培に必要な水量が確保できないため、降雨時等において水を貯める貯水施設が必要であり、犀川からのポンプアップの稼働時間を最小限にすることにより、労力の低減と営農経費の節減を図り、基盤整備が完了した農地の永続的な利用が図られる。

事業内容
 配水池築造1箇所 440m³

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	千円	千円	6,814 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	3,742 千円	2,240 千円
	起債	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	400 千円
	一般財源	0 千円	千円	3,072 千円	1,891 千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	実施設計	式			1	1	100.0%	
②	用地買収	式			1	1	100.0%	1
③	本体工事	式						1

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	貯水能力	m ³			0	440	0.0%	440
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い
点数	3	3	2	2	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 16 / 18 基盤整備した農地を維持するための用水確保には、ため池整備が唯一の方策であるが、地形・地質による制約が大きいため、事業費が割高となる。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	維持係	事務事業No.	16321
事務事業名	林道維持費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 2
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	林道の維持管理
-------	---------

事業の目的	健全な森林の維持管理のため、林道の管理を行い、通過交通車両の安全な通行維持を目的
-------	--

事業内容	林道施設（ガードレール、カーブミラー、横断水路、道路側溝）の維持管理 林道路面の維持管理
------	---

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	3,562 千円	10,846 千円	9,095 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	3,562 千円	10,846 千円	9,095 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	修繕工事	箇所	4	20	5	20	25.0%	20
	②	土砂上げ等作業	箇所	11	15	16	12	133.3%	12
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③							
2. 数値で表せない効果								
(指標)		林道の維持管理することにより、林道関係者のほか一般車両、観光目的の車両等安全安心な通行確保をしている。						

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 冬期通行止めの小熊黒沢線については、春の開通に合わせて、直営で除雪を行うほか、崩落土など重機を用いて除去するなど経費節減に努めている。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	低い	普通	重複なし	普通	適正である
		2	1	2	3	2	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続 評価点合計 13 / 18 林道は本来林間作業の道路としての使用だが、一部の林道では観光目的に使用道路となっていてきており、それに伴い一般車両の交通量増加し、交通安全対策等必要な施設の維持管理を行っていかねばならない。					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	16413
事務事業名	水利対策一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	6 項 4 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画	信濃川水系河川整備計画	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 河川法				

事業の概要	市内を複雑に網羅している水路の季節ごとの流量を調査 高瀬川等水環境協議会を通じ、高瀬川の流水確保及び青木湖減水対策を実施
-------	---

事業の目的	調査結果を基に、安定した水利を確保するための水路網の検討及び改良計画の策定 高瀬川等において、魚類が遡上するため必要な流水を確保し、水辺環境の保全を図る。
-------	--

事業内容	水利を管理する土地改良区へ流水調査を委託 国土交通省、県及び昭和電工株式会社と連携し、水利調整及び対策工事等を実施
------	--

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事業費 財源内訳	総事業費（決算額）		839 千円
国庫支出金			千円	千円	千円
県支出金			千円	千円	千円
起債			千円	千円	千円
その他財源			千円	千円	千円
一般財源			839 千円	838 千円	784 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
活動指標	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	協議会幹事会	回	1	2	1	100.0%	1
	②	協議会委員会	回	1	1	1	100.0%	1
	③	流量調査	箇所	17	17	17	100.0%	17

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値		
成果指標	1. 数値で表せる指標	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	高瀬川瀬切れ回数	回	0	18	5	0	-	0
	②								
	③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）流域の降雨量等自然条件に大きく左右されるが、大町ダムによる追加放流及び昭和電工の取水調整等により、瀬切れの解消や青木湖の水位低下解消を図る

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通
点数	3	2	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	治水及び利水は、気候に大きく影響を受け、ダムや水門調整によるバランスのとれた適正な制御ができない場合もあるため、その都度関係機関での調整が今後ますます重要となる。				
	評価点合計	16 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	16416
事務事業名	小水力発電施設管理運営費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	6 項 4 目 1
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画掲載頁	107	頁	個別計画	大田市地域新エネルギービジョン	
事業期間	平成19年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 河川法・電気事業法・再エネ特措法

事業の概要
 地球温暖化防止対策として新エネルギーの利用促進が重要な施策となっている。本事業はその具体策として、小水力発電を町川用水路の豊富な水と高瀬川の河岸段丘の落差を利用して行い、発生した電力を市が管理する「し尿処理施設（クリーンプラント）」で自家消費するものである。
 さらに、クリーンプラント運転休止時の余剰電力を中部電力へ売電する。

事業の目的
 二酸化炭素排出量の約3割りを占める発電は、地球温暖化防止対策として化石エネルギーの代替が求められている。さらに、福島原発事故以降、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」の施行により、原子力に頼らないクリーンエネルギーの利用拡大が急務となっている。
 このような中で、地域の特性を生かした小水力発電を建設し、再生可能エネルギーの利用を促進することは、本市の重要な施策となっている。

事業内容
 町川小水力発電所運転管理
 再生可能エネルギー利用普及啓発及び環境教育

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	3,962 千円	5,282 千円	1,637 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	1,454 千円	1,838 千円	1,637 千円	
	一般財源	2,508 千円	3,444 千円	0 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	発電量	Mw	1,052	1,025	1,108	1,045	106.0%	1,045
②	視察受入	団体	30	39	23	30	76.7%	10
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	売電収入	千円	1,454	1,838	8,601	7,500	114.7%	7,700
②	電気料削減	千円	10,002	10,885	12,477	11,170	111.7%	14,000
③								
	2. 数値で表せない効果							
	(指標)		CO ² の排出削減					

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	3	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続	電力供給先のクリーンプラントとの一元管理とし、電気主任技術者等にかかる経費を削減			
評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	管理係	事務事業No.	18112
事務事業名	土木総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	8 項 1 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	安全・安心なまちづくりを実現するため、治山・治水対策を行い、災害に強いまちづくりの構築								
事業の目的	治山・治水対策の推進								
事業内容	関係機関との連携による砂防事業、治山・治水事業の推進 関係機関への負担金の支出による整備促進								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,809 千円		2,870 千円		2,110 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,809 千円		2,870 千円		2,110 千円	
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
2. 数値で表せない効果		(指標) 関係機関との連携により、国直轄による砂防・治山・治水事業を行っていただくことは、人々の安全確保とともに、地域経済の活性化に対する効果が極めて大きい。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	中山間地域で生活を営む私たちの安全を確保するとともに、豊かな自然環境を守るため、継続的な砂防事業、治山・治水事業の促進が必要なことから事業の継続が必要。					
	評価点合計						
	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	管理係	事務事業No.	18212		
事務事業名	道路橋梁総務一般経費			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8	項	2
施策目標	利便性の高い広域道路の整備促進						
後期計画掲載頁	92	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 広域的な交流のほか、企業誘致、観光振興、経済活動の基盤となる地域高規格道路松本系魚川連絡道路など地域の活性化につながる幹線道路の建設、整備促進

事業の目的
 国・県道の整備促進及び地域高規格道路の整備促進

事業内容
 関係機関、団体との連携による整備促進の推進
 整備促進期成同盟会、協議会等関係機関への負担金の支出による整備促進

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	7,182 千円	12,801 千円	8,534 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	7,182 千円	12,801 千円	8,534 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	
2. 数値で表せない効果 (指標) 幹線道路の整備により、地域活性化が図れ、地域経済に対する効果も大きい								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	地域高規格道路の整備促進、及び、国、県道の整備促進を行うことにより広域的な交流のほか、企業誘致や観光振興、経済活動の活性化につながることから事業の継続が必要。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18221
事務事業名	道路維持管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 2 目 2
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁	91	頁	個別計画	橋梁長寿命化修繕計画（H24年度策定）	
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 舗装路面の老朽化対策や、橋梁の長寿命化への計画的な補修工事の実施。また、道路施設の老朽箇所の早期発見と利用者の事故の未然防止と安全確保。

事業の目的
 市民生活の生活基盤である、道路ストック（橋梁・トンネル・JRアンダー・舗装・付属構造物他）の総点検と快適で安全な施設の維持管理。また、施設の計画的な長寿命化修繕工事の実施。

事業内容
 道路ストックの総点検と、快適で安全・安心な道路施設の適切な維持管理の実施。

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事業費 財源内訳	総事業費（決算額）		159,682 千円
国庫支出金			29,942 千円	17,490 千円	7,206 千円
県支出金			千円	1,200 千円	千円
起債			千円	千円	千円
その他財源			千円	千円	千円
一般財源			129,740 千円	136,980 千円	213,881 千円

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
活動指標	①	維持工事（舗装・側溝他）	路線	19	18	27	21	128.6%	21	
	②	道路ストック総点検	箇所	123	68	80	80	100.0%	100	
	③	長寿命化修繕工事	箇所	1	1	1	1	100.0%	3	

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
成果指標	①	維持工事（舗装・側溝他）	km	3	2.5	3.6	2.8	128.6%	2.8	
	②	道路ストック総点検	点検数(累積)	253	321	401	401	100.0%	501	
	③	長寿命化修繕工事	箇所	1	1	1	1	100.0%	3	

2. 数値で表せない効果
 市道の走行安全性の向上と、交通環境の改善が図られ安心して利用できる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 道路ストック点検については、H24で橋梁点検が終了。H26から長寿命化修繕工事が本格的に始まる。また、法改定により点検が5年に1度実施と義務化される模様。H25の点検は、舗装点検80路線。H26の点検は、道路照明、及び大型標識等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3

評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	拡大 評価点合計 17 / 18	道路ストック総点検の早期実施と、計画的な修繕計画による長期的な予算確保が必要である。また、法改定により点検が5年に1度実施と義務化される模様。再点検年度は、橋梁点検がH29年度からとなり、H26の点検は、道路照明、大型標識、H27は法面構造物等の点検を計画している。			

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18222
事務事業名	交通安全施設整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 2 目 2
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁	91	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 通学路の安全確保や、歩行者、自転車等の安全対策への関心が深まり、地域からの歩道設置等の要望が多く、学校周辺や、公共施設周辺での、効果があり即効性の高い箇所から整備を実施している。

事業の目的
 通学路を重点に、歩道の設置、安全歩行空間の整備を進め、安全・安心な生活基盤の整備を図る。

事業内容
 通学路の安全点検や、歩道の設置、安全歩行空間の整備検討を行う。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	14,381 千円	44,951 千円	68,623 千円
国庫支出金	935 千円	15,000 千円	28,162 千円		
県支出金	千円	千円	千円		
起債	千円	千円	千円		
その他財源	千円	千円	千円		
一般財源	13,446 千円	29,951 千円	40,461 千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	区画線・外側線の改修	km	23	25	17	16	106.3%	16
②	歩道設置	路線	1	2	3	3	100.0%	4
③	安全歩行空間整備	箇所		2	6	5	120.0%	5

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	区画線・外側線の改修	km	23	25	17	16	106.3%	16
②	歩道設置	km	0.1	0.1	0.3	0.3	100.0%	0.2
③	安全歩行空間整備	km		0.4	1.3	0.9	144.4%	1.3

2. 数値で表せない効果
 通学路の緊急合同点検の実施により、地域住民や公安委員会、学校(教育委員会)との合意形成や整備手法についての検討を進め、地域にあった適切な整備が早期にできる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	拡大 通学路の安全確保や、歩行者、自転車等の安全対策への関心が深まり、地域からの歩道設置等の要望が多い。早期に整備が必要であるが、学校周辺や、公共施設周辺を重点に、効果があり即効性の高い箇所から整備を実施したい。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18223
事務事業名	舗装復旧受託事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 2 目 2
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁	91	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
生活道路の、車両等の走行性、安全性の確保。凹凸による振動や騒音の解消のため、上下水道による復旧後の路面の本復旧工事の実施。

事業の目的
快適な生活道路の維持管理。

事業内容
舗装の計画的な維持管理のため、道路管理者の費用負担も含めた受託復旧の検討及び実施。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	50,453 千円	23,489 千円	41,339 千円
国庫支出金	千円	千円	千円		
県支出金	千円	千円	千円		
起債	千円	千円	千円		
その他財源	25,179 千円	9,702 千円	11,676 千円		
一般財源	25,274 千円	13,787 千円	29,663 千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	上水道舗装受託復旧	路線	4	2	4	4	100.0%	1
②	下水道舗装受託復旧	路線	2	0	0	-	-	
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	上水道舗装受託復旧	km	2.5	0.7	2.1	2	105.0%	1
②	下水道舗装受託復旧	km	0.7	0	0	-	-	
③								
2. 数値で表せない効果								
地下埋設物布設後の路面の凹凸の解消と道路環境の改善が図られている。								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	2	3	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続	下水道の復旧工事は概ね終了し、上水道が依然として進まないため、占用者の計画的な予算確保が必要である。			
評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建設係	事務事業No.	18232
事務事業名	道路新設改良費			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 2 目 3
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁	91	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等				

事業の概要
生活道路の安全で快適な通行のため、狭あい部分の拡幅改良の自治会要望が多く、費用対効果を検討しながら路線選定をし実施。

事業の目的
生活道路の安全性の向上、狭あい道路の整備。

事業内容
生活道路の拡幅改良と、交差点改良、自転車レーンの検討。狭あい道路の拡幅改良。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	110,485 千円	97,339 千円	66,984 千円
	国庫支出金	40,292 千円	5,771 千円	6,888 千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	13,000 千円	18,800 千円	3,000 千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	57,193 千円	72,768 千円	57,096 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	新設改良工事	路線	8	9	7	9	77.8%	7
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	新設改良工事	km	1.2	0.7	0.5	0.6	83.3%	0.6
②								
③								

2. 数値で表せない効果
集落内の生活道路の安全性の向上が図られる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
自治会からの陳情や要望であっても、用地取得が難しく、暗礁に乗り上げるケースが多く整備が進まない。また、費用対効果が問題視されるため、説明責任が果たせないケースもある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	一部重複	低い
点数	2	2	2	2	1	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	<p>計画道路の幅員について、地域の公平性を検討し整備方針(道路の役割)を立て進める。</p> <p>例として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集落内の生活道路 ⇒ 道路幅員 W=4.0m(待避所の設置の検討) ②集落間を結ぶ補助幹線 ⇒ 道路幅員 W=5.0m(すれ違い可) ③国県道などの幹線道路の代替路線 ⇒ 道路幅員 W=7.0m(2車線) <p>要望内容を検討する中で、幅員構成については道路管理者として統一的な見解により公平性を保ち、安全性と利便性の向上、費用対効果を検証し整備を進める。</p>				
	評価点合計	12 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	維持係	事務事業No.	18241
事務事業名	雪害対策事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 2 目 4
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 積雪寒冷特別措置法(昭和31年法律第72号)					

事業の概要
 幹線道路や生活道路等の除雪・排雪作業、凍結防止剤散布作業を行い、市民が安心、安全な生活ができるように図る。

事業の目的
 冬期間における生活道路の確保を目的に、市民と協働による雪対策の推進。

事業内容

- ・市道延長約860kmの内除雪筆路延長424.5km（大町地区321.5km 美麻地区51.2km 八坂地区51.8km）
- ・歩道除雪延長51.6km(大町地区38.6km 美麻地区3.1km)
- ・除雪委託業者80者（業者54社 自治会26者）
- ・業者等への貸与する除雪機械の購入

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	177,257 千円	229,695 千円	282,827 千円
		国庫支出金	9,976 千円	20,750 千円	25,200 千円
		県支出金	千円	千円	11,800 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	167,281 千円	208,945 千円	245,827 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	除雪機械増設数	台	2	3	2	5	40.0%	2
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	除雪延長	km	453.0	455.5	476.1	460	103.5%	480
	②	除雪委託業者	者	79	78	80	80	100.0%	78
	③	除雪機械総数	台	50	50	52	51	102.0%	52
2. 数値で表せない効果									
（指標） 除排雪の実施により、冬期間の市民生活道路の安全確保をしている。									

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 排雪作業について、業者委託以外に職員直営で排雪作業を実施し、委託料の削減を図っている。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	3	3	3	2	3	2
	今後の方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等） 拡大 ・市道において、生活道路等すべての道路が除雪されてるわけではない。また、市街地における除雪については、家屋が連担しており堆雪帯がないことから排雪作業を行うが、ある程度堆積しなければ作業を行わない。また、高齢者世帯の除雪支援体制も課題である。 評価点合計 16 / 18 ・公道ではない民間所有の道路（位置指定道路、別荘地）の除雪要望が年々多く、定住促進からも検討の余地や財政面も併せて検討したい。 ・市南部地区の年間降雪量がない地区で、除雪機械を保有していない業者への貸与も考慮する必要がある。					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	18311
事務事業名	水路維持改良事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 3 目 1
施策目標	暮らしを支える生活道路の整備				
後期計画掲載頁	91	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 河川法、道路法				

事業の概要
 日常の点検及び自治会等からの要望により、緊急性と必要性から順位を検討し、水路改良計画を立て事業を実施している。

事業の目的
 市域を複雑に網羅している水路の延長は非常に大きく、経年劣化が激しく漏水が多いため、本来の水管理が困難な状況にあり、さらに、気候変動及び都市化に伴う局地的豪雨被害に対応した水路の新設改良及び維持管理が急務である。

事業内容

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）		35,856 千円	40,965 千円
財源内訳	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		千円	千円	千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		35,856 千円	40,965 千円	45,055 千円

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
活動指標	①	改良工事	箇所	9	10	13	10	130.0%	10	
	②	修繕工事	箇所	23	52	44	40	110.0%	40	
	③									

		平成22年度		平成23年度		平成24年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
成果指標	①	改良延長	km	1	0.5	0.5	1	50.0%	1	
	②						-	-		
	③									

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 既存施設の現況調査を行い、長寿命化を図ることで、経費を最小に抑えた効率のよい機能維持が求められている。 評価点合計 16 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18412
事務事業名	都市計画総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	8 項 4 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理体制の強化				
後期計画掲載頁	83・87	頁	個別計画		頁
事業期間	平成24年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 都市計画法

事業の概要 地域の特性を生かした都市計画の推進。

事業の目的 都市計画の分野の情報収集。当市の豊かな自然環境等や農地と調和し、安全で安心して暮らせる都市計画の構築と震災時における震災被害の軽減効果や避難通路の確保等、災害に強いまちづくりの推進。

事業内容 都市計画分野に関する事業や情報収集や調査研究、都市施設整備の普及促進。市村合併等の社会情勢の変化を反映した「大田市都市計画マスタープラン」の改定業務の実施。(H24～H25) 社会情勢や社会動向に応じ、都市計画法の提案制度を活用した都市計画用途地域の変更。(H25～H26予定) 市内の都市計画区域内で生け垣の新たな設置、又は既存のブロック塀等を撤去し生け垣にする経費の一部を補助する制度の「まちなか減災対策生け垣緑化促進事業」の実施。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費(決算額)	306千円	6,017千円	5,466千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	306千円	6,017千円	5,466千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	生け垣緑化補助申請者	件		3	2	5	40.0%	5
②	ブロック塀の撤去及び生け垣補助申請者	件		2	0	5	0.0%	5
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③								
	2. 数値で表せない効果							
	(指標)		健康で文化的な生活環境の確保、安心・安全な暮らしやすいまちづくりの推進。					

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	低い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	1	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)				
	今後の方向性	継続	少子高齢化社会の進展等の社会情勢が大きく変化する中、高齢化社会や子育て環境へ配慮した都市計画の構築が必要。			
評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18413
事務事業名	おたんじょ桜事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 1
施策目標	潤いとゆとりのある公園・緑地・里山の整備と緑化の推進				
後期計画掲載頁	98	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 大田市おたんじょ桜の里づくり条例					

事業の概要
 平成12年に「西暦2000年を節目として今後100年間、『桜の里づくり』に取り組むこと」が市議会有志から提案され、大田市で育つ子どもたちの健やかな成長を願い、「大田市おたんじょ桜の里づくり」条例が制定され、毎年市内各小学校へ入学した1年生を対象とし、クラスごと1本つつオオヤマザクラを植樹。また、植樹後の桜の適正な維持管理。

事業の目的
 市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植栽を進めることにより桜の名所の形成を図り、児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を進めることを目的とした事業。

事業内容
 毎年子ども育成会や連自治会、PTAや市議会等で構成する実行委員会を開催し、記念植樹会の植樹場所や日程等について計画を行い、市内各小学校へ入学した1年生を対象とし、クラスごと1本つつオオヤマザクラ（樹齢6～7年生）の記念植樹を行う。また、植樹された桜の適正な維持管理。（草刈・施肥・灌水・害虫駆除・育成調査等）

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,013 千円	832 千円	975 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,013 千円	832 千円	975 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	記念植樹祭の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②	おたんじょ桜管理業務	施設	7	7	7	7	100.0%	7
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	植樹累計	本	300	309	319	319	100.0%	329
②						-	-	
③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 市内の都市公園や幹線市道等の公の敷地に、一定の纏まりをもった植樹を実施してきた。H22～H26の5か年間については国営アルプスあづみの公園との覚書により、可能な場合は公園イベントと併せた記念植樹祭を行っている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 18 / 18 平成12年の事業の開始以来14年間植樹祭を開催してきた。当初記念植樹した1年生たちは順次成人を迎えてきている。当時植樹した記念イベントなど自主的な取組みに対し研究する必要がある。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18422
事務事業名	街路整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	地域の特性を活かした都市計画の推進				
後期計画掲載頁	87	頁	個別計画	大町都市計画道路見直し及び整備プログラム	36
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等		地方財政法	負担率-長野県議会議決	

事業の概要
 県単街路事業として整備が進められている都市計画道路について、地方財政法第27条により整備事業に要する経費の一部を地元市町村負担金として負担する。(地特1/10 一般1.5/10)

事業の目的
 幹線道路としての交通機能や防災機能等、都市の骨格を形成する都市計画道路で、大町都市計画整備プログラムの短期整備路線に位置付けられている、三日町犬の窪線俵町工区(扇沢大町線)及び、中央通り線(長野大町線)北大町工区の両路線について、安全な歩行空間の確保の向上を図る目的で県単街路事業にて改良事業が進められている。

事業内容
 事業名 : 県単街路事業(地方道路等整備)
 路線名 : 三日町犬の窪線 俵町工区 : 中央通り線 北大町工区
 概要 : W=16m L≒600m : W=16m L≒450m
 整備期間 : H22~H26(予定) : H25~H29(予定)

事業費	年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		総事業費(決算額)	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円
	県支出金		千円		千円		千円
	起債		千円		千円		千円
	その他財源		千円		千円		千円
	一般財源		11,710		18,831		18,949
			千円		千円		千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	三日町犬の窪線整備延長(事業費換算累計)	m	140	328	511	511	100.0%	650
②	中央通り線整備延長(事業費換算累計)	m			4	4	100.0%	30
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
①	三日町犬の窪線整備率(事業費換算累計)	%	27.8	31.9	35.9	35.9	100.0%	39
②	中央通り線整備率(事業費換算累計)	%			52.3	52.3	100.0%	52.9
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標) 三日町犬の窪線の今回の整備区間約600m間の改良が完了すると、路線の整備率は38%となる予定。
 中央通り線の今回の整備区間約450m間の改良が完了すると、路線の整備率は62%となる予定。

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3

評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)				
	今後の方向性	継続	緊急性や優先順位の高い都市計画道路の路線や区間について、計画的に整備を進める頂くよう長野県に要望し、円滑な事業遂行のため地域との調整を行う。			
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道 部	建設 課	計画 係	事務事業No.	18427
事務事業名	若宮駅前線整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 2
施策目標	地域の特性を生かした都市計画の推進				
後期計画掲載頁	87	頁	個別計画	大町都市計画道路見直し及び整備プログラム	36 頁
事業期間	平成 22 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 都市計画道路 若宮駅前線（若宮工区）は、計画延長1,130mの内信濃大町駅前からはなのき保育園北側までの約750m間について整備が終えている。残る約400m間の未整備区間について計画的な新設改良事業を行う。

事業の目的
 若宮駅前線（若宮工区）については、幹線道路としての交通機能や防災機能等、都市の骨格を形成する都市計画道路として計画決定されており、沿道にははなのき保育園や仁科台中学校、東洋紡工場跡地等が隣接しており、都市計画道路曾山観音橋線（県道有明大町線）及び館の内借馬線（国147号）を繋ぐ重要な路線である。未整備区間を整備することにより、安全な歩道空間の確保や大型車の交通ネットワークの形成を図る。

事業内容
 事業名：社会資本整備総合交付金 都市再生整備計画事業
 路線名：市道 若宮駅前線 若宮町
 概要：道路新設改良 W=16m L=490m（取付市道含む）
 整備期間：H22～H27（予定）

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	3,279 千円	117,559 千円	88,240 千円
	国庫支出金	千円	83,886 千円	25,900 千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	31,900 千円	59,223 千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	3,279 千円	1,773 千円	3,117 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	整備延長（事業費換算累計）	m	17.7	135.9	224.5	340	66.0%	338
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	整備率（事業費換算累計）	%	67.9	78.4	86.2	97.1	88.8%	96.2
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18 都市計画道路 若宮駅前線は、平成27年度完成を目標に改良事業を進めている。この区間の整備が完了すると整備率が100%となる。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	維持係	事務事業No.	18431
事務事業名	公園管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 3
施策目標	潤いとゆとりのある公園・緑地・里山の整備と緑化の推進				
後期計画掲載頁	98	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	都市公園6箇所、その他公園3箇所及び10か所ポケットパーク、4公園の植栽管理及びトイレ等施設管理業務(遊具管理含む)
-------	--

事業の目的	環境と調和した公園を通し、市民の憩いの場や子供たちの遊びの場を通して、安心安全な公園の維持管理をする。
-------	---

事業内容	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">都市公園</td> <td style="width: 50%;">その他の公園</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・西公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ ・大町文化公園……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・大町公園……桜、あずま屋、植栽、(トイレ) ・高瀬渓谷緑地公園(上部公園・下部公園)……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・駅前広場公園……ステージ、植栽 ・やしろ公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ポケットパーク……五日町・八日町・下仲町・大黒町・白塩町・九日町・山下 その他……青島公園、木崎湖園地、市民の森、旧農具側親水公園 </td> </tr> </table>	都市公園	その他の公園	<ul style="list-style-type: none"> ・西公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ ・大町文化公園……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・大町公園……桜、あずま屋、植栽、(トイレ) ・高瀬渓谷緑地公園(上部公園・下部公園)……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・駅前広場公園……ステージ、植栽 ・やしろ公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットパーク……五日町・八日町・下仲町・大黒町・白塩町・九日町・山下 その他……青島公園、木崎湖園地、市民の森、旧農具側親水公園
都市公園	その他の公園				
<ul style="list-style-type: none"> ・西公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ ・大町文化公園……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・大町公園……桜、あずま屋、植栽、(トイレ) ・高瀬渓谷緑地公園(上部公園・下部公園)……芝広場、あずま屋、植栽、トイレ ・駅前広場公園……ステージ、植栽 ・やしろ公園……遊具、藤棚、あずま屋、植栽、駐車場、トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットパーク……五日町・八日町・下仲町・大黒町・白塩町・九日町・山下 その他……青島公園、木崎湖園地、市民の森、旧農具側親水公園 				

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費(決算額)	19,387千円	23,973千円	21,432千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	1,039千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	19,387千円	22,934千円	21,432千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	遊具の日常点検	回	5	8	8	10	80.0%	10
	②	遊具の定期点検	回	0	0	1	1	100.0%	1
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③							

2. 数値で表せない効果	(指標)
公園等の維持管理を行うことにより、市民の憩いの場の提供ができ、安心安全に確保できている。	

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)
 平成25年度に専門業者による点検を実施し、不具合の箇所の指摘があったため、早急に修繕を行いきめ細やかな対応ができた。今後も年1回以上は専門業者による点検を行うとともに、日常点検をできる資格を有する職員研修に努める。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
		2	2	2	3	2	3
	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	継続 ・都市公園は、市民の憩いの場の提供をしているが、今後は震災など想定した避難場所としての役割を担っていく。 ・ポケットパークは、地元自治会で自主管理をしていたが、近年高齢化等により行政側での草取りをするなど実施してきている。今後も、同様な維持管理で市民との協働で管理を進めたい。					
	評価点合計	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	計画係	事務事業No.	18433
事務事業名	親水公園整備事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	8 項 4 目 3
施策目標	潤いとゆとりのある公園・緑地・里山の整備と緑化の推進				
後期計画登載頁	98	頁	個別計画		頁
事業期間	平成25年	～	平成25年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	都市公園として開設した西公園は、図書館やグラウンド、遊具広場、芝生広場などが整備されており、多くの市民の遊びや憩いの場所として利用されている。この西公園の一部に親水施設（噴水施設・湧水施設）を整備する。								
事業の目的	子育て環境の向上に向けた取組の一つとして、おもに未就学児童から小学生程度の子供達を対象に、大町の豊かな水資源をより身近に手や体で触れられる親水施設の整備。								
事業内容	西公園親水施設 設計業務委託 1式 西公園親水施設 整備工事 1式								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		26,491 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		24,980 千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		千円		千円		1,511 千円			
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
	③					-	-		
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
		○ 水や川に触れることのできる親水施設の整備。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	事業完了終了						
	評価点合計	25年度執行及び完了事業。					
	18	/ 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18452
事務事業名	建築総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 5
施策目標	誰もが安心して暮らせる住宅・居住環境の形成				
後期計画掲載頁	93	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等				

事業の概要	一般建築行政に関する市民相談対応、建築関係申請の受付、進達 アスベスト飛散防止対策に関すること 市建築物等の設計、監理及び検査
-------	---

事業の目的	建築行政の推進
-------	---------

事業内容	一般建築行政に関する市民相談対応、建築関係申請の受付、進達 アスベスト飛散防止対策に関すること 市建築物等の設計、監理及び検査
------	---

事業費		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	17,355 千円	201 千円	1,769 千円
	財源内訳	国庫支出金	3,828 千円	千円	785 千円
		県支出金	1,914 千円	千円	392 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	11,613 千円	201 千円	592 千円

活動指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
		指標名	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	建築確認申請受付	140	125	126	130	96.9%	120
	②	アスベスト飛散防止対策事業	1		1	-	-	
	③	アスベスト飛散防止対策補助金交付額	7,656		1570	-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
		指標名	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③					-	-	

2. 数値で表せない効果	(指標)
--------------	-------

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	3	3	2	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続 人口減少や少子高齢社会の進行への対応のほか定住対策を推進するため、地域の特性を生かした宅地開発の誘導や、宅地等に関する情報提供、住まいづくりに関する相談体制の充実を図っていく。					
	評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18453
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	8 項 4 目 5
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画	大田市耐震改修促進計画	頁
事業期間	平成16年	～	平成27年	根拠法令・要綱等	大田市住宅・建築物耐震改修促進事業補助金交付要綱

事業の概要
 既存建築物の耐震性を確保するため、耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進することにより、既存建築物の耐震性の向上を図る。

事業の目的
 今後予想される地震災害に対して市民の生命及び財産を守るとともに、震災による被害を最小限にとどめることを目的とする。

事業内容
 1 耐震診断 建築基準法の耐震基準改正前に建設された木造在来工法の住宅(併用住宅含む)が対象。建物所有者からの診断申込みを集約し、長野県木造耐震診断士の有資格者が所属する(一社)長野県建築設計事務所協会に業務委託する。精密診断費36千円は市が負担し、建物所有者に費用負担はない。診断費用の1/2が国庫補助、1/4が県費補助。
 2 耐震改修 耐震診断の結果、総合評点1.0未満と診断された住宅に、耐震性を向上させるための耐震補強工事(工事後の総合評点が0.7以上)を行う場合、補助対象工事費の1/2かつ600千円を限度として補助する。国庫補助 23.0% 県費補助 38.5% 一般財源 38.5% 平成25年度は緊急支援措置として30万円上乘せ補助した。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費(決算額)	2,097千円	1,335千円	5,800千円
	国庫支出金	906千円	511千円	2,847千円	
	県支出金	595千円	411千円	1,474千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	596千円	413千円	1,479千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	広報掲載	回	1	1	2	2	100.0%	1
②	制度周知チラシ	枚	100	100	100	100	100.0%	100
③	制度説明会	回	1	1	0	1	0.0%	0

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	耐震診断	件	27	10	11	30	36.7%	30
②	耐震改修	件	2	2	6	5	120.0%	5
③	特定建築物耐震診断	件	-	-	0	1	0.0%	3

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	低い	高い	一部重複	普通	適正である	
点数	3	1	3	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	やり方改善	戸建集宅の耐震診断対象件数が約5,400戸在し、事業推進のため広報を通じて周知に努めているが、震災対策への関心が低いこと、耐震改修には多額の工事費を要することから実績が上がっていない。県・木造住宅耐震診断推進協議会と連携を密にするとともに、自治会単位での説明会などにより、周知、案内を行い、耐震化を促進していく。耐震改修より安価に、家屋が倒壊しても一定の空間を確保することで命を守る「耐震シェルター」の設置事業の要否を検討する。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18455
事務事業名	住宅リフォーム促進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 5
施策目標	誰もが安心して暮らせる住宅・居住環境の形成				
後期計画掲載頁	93	頁	個別計画		頁
事業期間	平成 23 年	～	平成 25 年	根拠法令・要綱等 大田市住宅リフォーム促進事業補助金交付要綱	

事業の概要
 市民の住環境の向上を促進するとともに、地域経済活性化を図るため、市民が市内の施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に要する費用に対して補助金を交付する。

事業の目的
 市民の住環境の向上を促進するとともに地域経済の活性化を図る。

事業内容
 申請できる者 市内に住所を有する者で、住宅の所有者又は居住している家族、市税を滞納していない者
 対象住宅 市内にある個人住宅で自己又は家族の居住する住宅
 施工業者の要件 市内に本店がある住宅関連業者又は市内に住所のある個人関連事業者
 補助額等 補助率 20% 限度額 200千円

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	24,892 千円	66,508 千円	86,237 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	24,892 千円	66,508 千円	86,237 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	広報掲載	回	1	1	1	1	100.0%	1
②	事業説明会	回	2	-	-	-	-	
③	補助金交付額	千円	24,892	66,508	86,237	30,000	287.5%	

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	住宅リフォーム	件	167	422	529	182	290.7%	
②	経済波及効果(対象工事費)	千円	173,958	459,294	602,096	210,000	286.7%	
③	経済波及効果(対補助額割合)	倍	7.0	6.9	7.0	7.0	100.0%	
2. 数値で表せない効果								
(指標) 住宅リフォームの実施にあわせて家具、カーテンなどの調度品、家電製品の買い替え等もあることから、対象工事費よりさらに大きな地域経済への波及効果があるものと考えられる。								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い
点数	3	3	2	2	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	本事業は、地域経済への時限的な緊急対策として事業を実施してきたこと、事業期間中の要望に対しては、適切な予算措置に努め、住宅リフォームを必要とする方すべての要望にお応えしてきたことから、平成25年度をもって事業終了の目安としてきたが、平成26年4月から、消費税率が段階的に上がり、一時的な駆け込み需要の増加と、その反動としての買い控えにより、地域経済が大きく影響を受けることも危惧されたことから、1年間事業期間を延長することとした。（申請受理期間は9月末日）				
	評価点合計	16 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18512
事務事業名	住宅管理費			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 5 目 1
施策目標	誰もが安心して暮らせる住宅・居住環境の形成				
後期計画掲載頁	93	頁	個別計画		頁
事業期間	平成22年	～	平成26年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
平成25年4月1日現在、16団地482戸の市営住宅を所有、管理している。通常の維持管理を行うとともに、既存ストックの居住水準の向上、安全性の確保等を図るために必要な改善、老朽化した住宅の整理統合等を計画的に実施する。

事業の目的
良質な公営住宅の効率的な供給の促進、適正な維持修繕
不良住宅の撤去
市営住宅適正管理戸数への推進

事業内容
平成24年度 住環境整備（大原団地A・B棟へのエレベーター設置 2基）
入居者移転（柿の木団地 244千円 122千円×2戸）
平成25年度 入居者移転（柿の木団地 366千円 122千円×3戸）
平成26年度 柿の木団地跡地整備工事（住宅除却 15戸 造成 5,000千円）

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	千円	32,006	千円
	国庫支出金	千円	12,600	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円
	一般財源	0	千円	19,406	千円
					366

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	エレベーター設置	基		2		-	-	
②	移転補償	件		2	3	3	100.0%	
③	住宅解体撤去	件				-	-	15

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果
(指標) 老朽箇所の修繕等により居住水準の向上が図られている。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	やり方改善	耐用年数又は耐用年数の2分の1を経過した住宅の割合が高くなっている。当市における公的住宅の需要推計に基づき、適切な管理戸数とすることとし、具体的な整備計画を策定する。			
	評価点合計	14 / 18				
		県営住宅との併設団地においては、管理の効率化等の観点から、事業主体変更等により一本化し、効率的な整備を進める。				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	事務事業No.	111111
事務事業名	市単独農業施設災害復旧事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	11 項 1 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画	大田市地域防災計画	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 農地法・土地改良法・災害対策基本法					

事業の概要	災害復旧のうち、査定対象とならない小規模復旧及び緊急を要する復旧事業								
事業の目的	被害を最小限に留めるため並びに農業施設の早期復旧による安定した農業経営を継続する。								
事業内容	農地及び農業施設の災害復旧								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		8,845 千円		1,466 千円		1,331 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		8,845 千円		1,466 千円		1,331 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	緊急修繕	箇所	16	1	4	—	—	
	②						—	—	
	③						—	—	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①						—	—	
	②						—	—	
	2. 数値で表せない効果								
	(指標)		災害に対する初期対応及び早期の復旧により、農地及び農業施設の被害を最小限に抑える。						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">継続</p> <p style="text-align: center;">評価点合計 17 / 18</p> <p>異常気象下であっても被害を出さない、被害を拡大させないための農業施設等の施工及び維持管理が必要。</p> </div>					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	管理係	事務事業No.	111121
事務事業名	市単独林道施設災害復旧事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	11 項 1 目 2
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	災害復旧のうち、査定対象とならない小規模復旧及び緊急を要する復旧事業								
事業の目的	林道施設の早期復旧による安定した林道環境の継続								
事業内容	林道施設の災害復旧								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		12,063 千円		0 千円		1,039 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		12,063 千円		0 千円		1,039 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	緊急修繕	箇所	9	0	1	-	-	
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
	①						-	-	
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標) 災害に対する初期対応及び早期の復旧により、林道への影響を最小限に抑える							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
		評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
	点数	3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	評価点合計	17 / 18 異常気象下であっても被害を出さない、被害を拡大させないための林道施設の施工及び維持管理が必要。					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	管理係	事務事業No.	111211
事務事業名	公共土木施設災害復旧事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	11 項 2 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	災害復旧のうち、査定対象となる大規模復旧事業								
事業の目的	道路及び水路施設の早期復旧による安定した生活環境の継続								
事業内容	道路及び水路施設の災害復旧								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		51,208 千円		0 千円		5,344 千円		
	財源内訳	国庫支出金		40,022 千円		千円		3,403 千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		11,186 千円		0 千円		1,941 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	復旧工事	箇所	12	0	1	-	-	
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標) 災害に対する初期対応及び早期の復旧により、市民生活への影響を最小限に抑える							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	異常気象下であっても被害を出さない、被害を拡大させないための道路及び水路施設等の施工及び維持管理が必要。					
	評価点合計						
	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	建設水道部	建設課	管理係	事務事業No.	111213		
事務事業名	市単独公共土木施設災害復旧事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	11	項	2
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理態勢の強化						
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	災害復旧のうち、査定対象とならない小規模復旧及び緊急を要する復旧事業								
事業の目的	被害を最小限に止めるため、並びに道路及び水路施設の早期復旧による安定した生活環境を継続する								
事業内容	道路及び水路施設の災害復旧								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		38,769 千円		11,677 千円		4,941 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		38,769 千円		11,677 千円		4,941 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	緊急修繕	箇所	26	10	6	-	-	
	②	復旧工事	箇所	4	1		-	-	
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
	①						-	-	
	②						-	-	
2. 数値で表せない効果		(指標) 災害に対する初期対応及び早期の復旧により、市民生活への影響を最小限に抑える							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	異常気象下であっても被害を出さない、被害を拡大させないための道路及び水路施設等の施工及び維持管理が必要。					
	評価点合計						
	17 / 18						